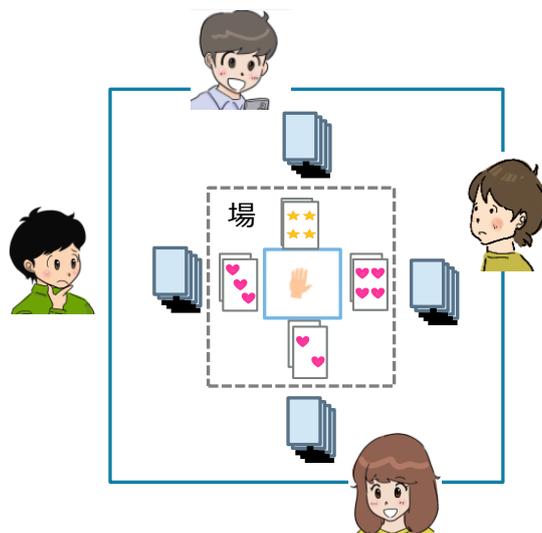


C212 Find5



ばにでたカードをよくみてね。
あるかたちが5になったら、
いそいで、てをだそう！

さいしょにてをだしたひとが、
ばのカードをすべてもらえるよ。
たくさんカードをゲットしたひとが、かち！



★ あそびかた

すべてのカードをくばり、うらがえしておく。
ばのシートをまんなかにおいてから、はじめよう。

① じゅんばんをきめる

スタートのひとをきめ、つぎからはとけいまわりにじゅんばんをまわす

② カードをめくる

スタートのひとからじゅんに、じぶんのカードからいちばん上のカードをおもて
向けて、ばに出す。（次からは、じぶんが出したカードの上にかさねる）
・あるかたちのかず5になったら、「GO！」といい、手をまんなかになだす
いちばんはやいひとが、ばのカードをすべてもらえる
・5より小さいとき、大きいときは、手をださないで！
くわしいルールはどうかをチェック！

だれかのてもちのカードがなくなるまで、じゅんばんに、②をくりかえそう。
さいご、てもちのカードのまいすうが おおいひとがかち！



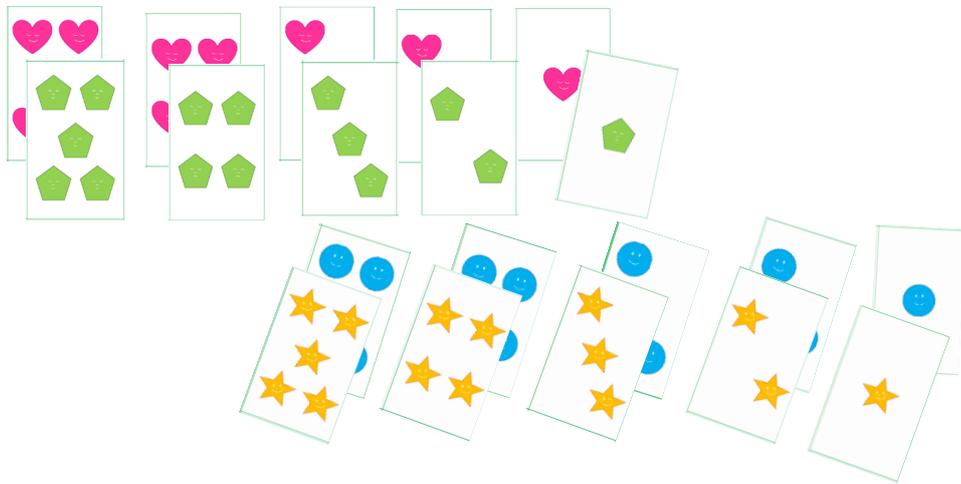
くわしいルールは、つぎのページいこうに のっているよ！ おうちのひとと、いっしょによんでね。



人数 3人～5人
 時間 30分程度
 難易度 ★☆☆

ファインド ファイブ

c212 Find 5



ゲーマータイプ



A:達成者

多くのカードを集める

3
2
1
0

D:決闘者

形の数の合計が5のとき
他の人よりも早く手を出す

B:交流者

順番にカードを
めくる



C:探究者

5になる数の組み合わせを見つける



C212 Find5



ゲームの概要

順番にカードを場に1枚ずつ出していきます。カードに書かれている形をよく見て、形ごとの数をチェックします。

ある形の数が5つになったら、場のシートの上に手を出し、最初に手を出した人が場のカードをすべてもらえます。



勝負のつけ方

誰かの手持ちのカードがなくなったら、おわりです。一番たくさんカードを持っている人の勝ちです。

C212 Find5

内容物

黄色カード（1 4枚）



1枚



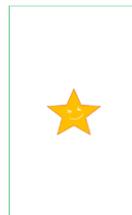
2枚



3枚

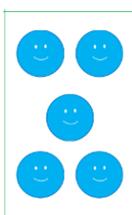


3枚

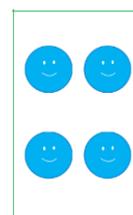


5枚

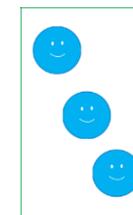
青色カード（1 4枚）



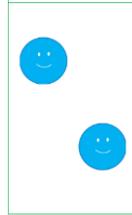
1枚



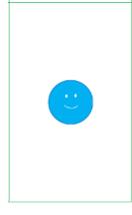
2枚



3枚

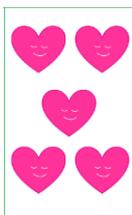


3枚



5枚

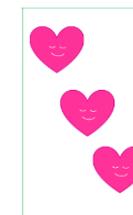
赤色カード（1 4枚）



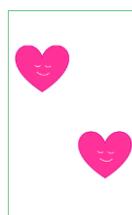
1枚



2枚



3枚

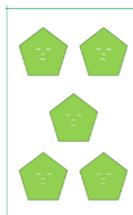


3枚

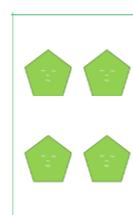


5枚

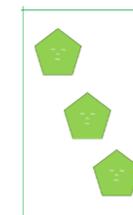
緑色カード（1 4枚）



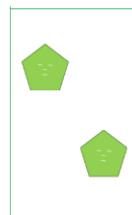
1枚



2枚



3枚



3枚



5枚

合計 56枚

C212 Find5

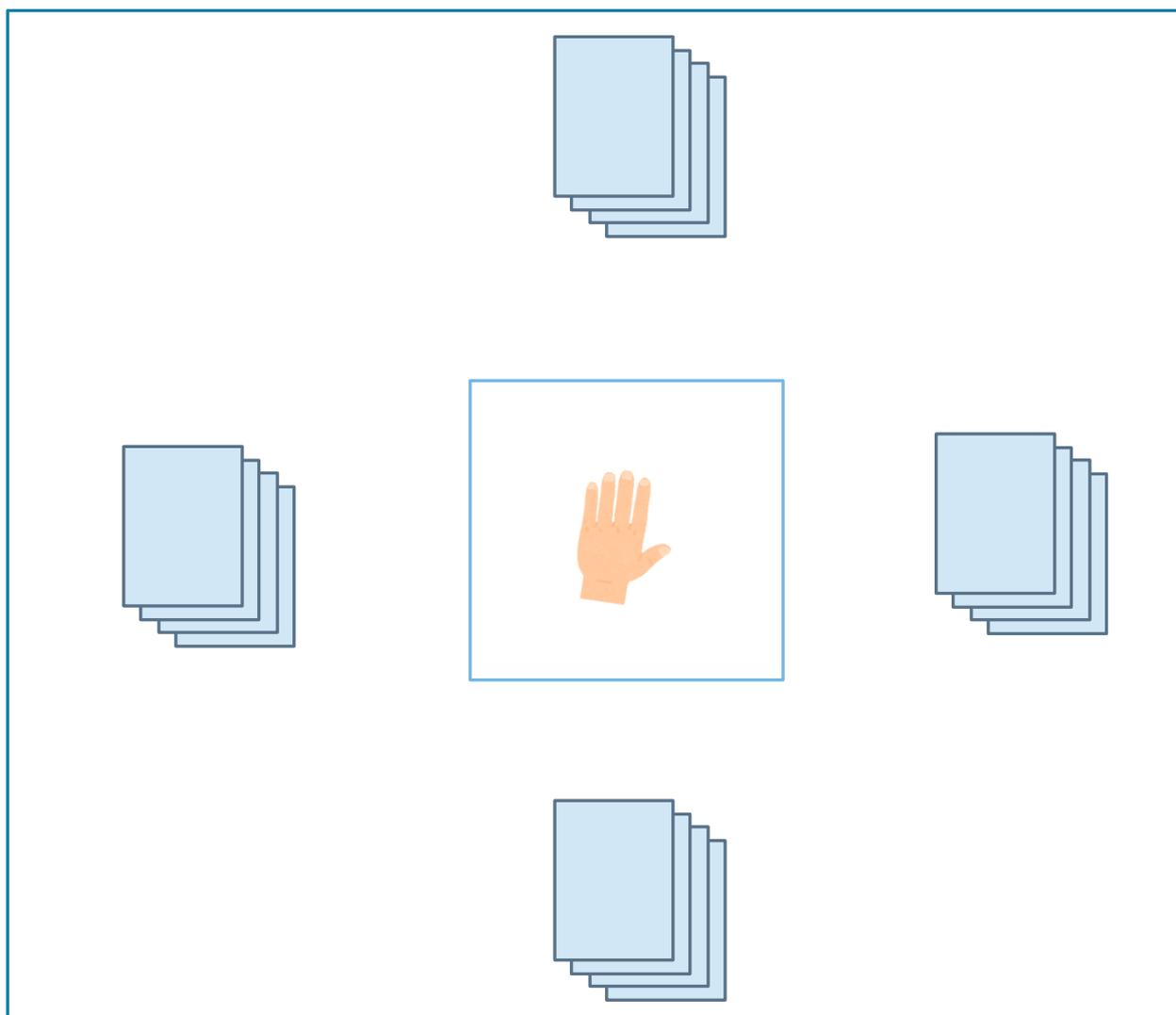
準備

カード

全て配り、裏向きに置きます。

場のシート

真ん中に置きます。

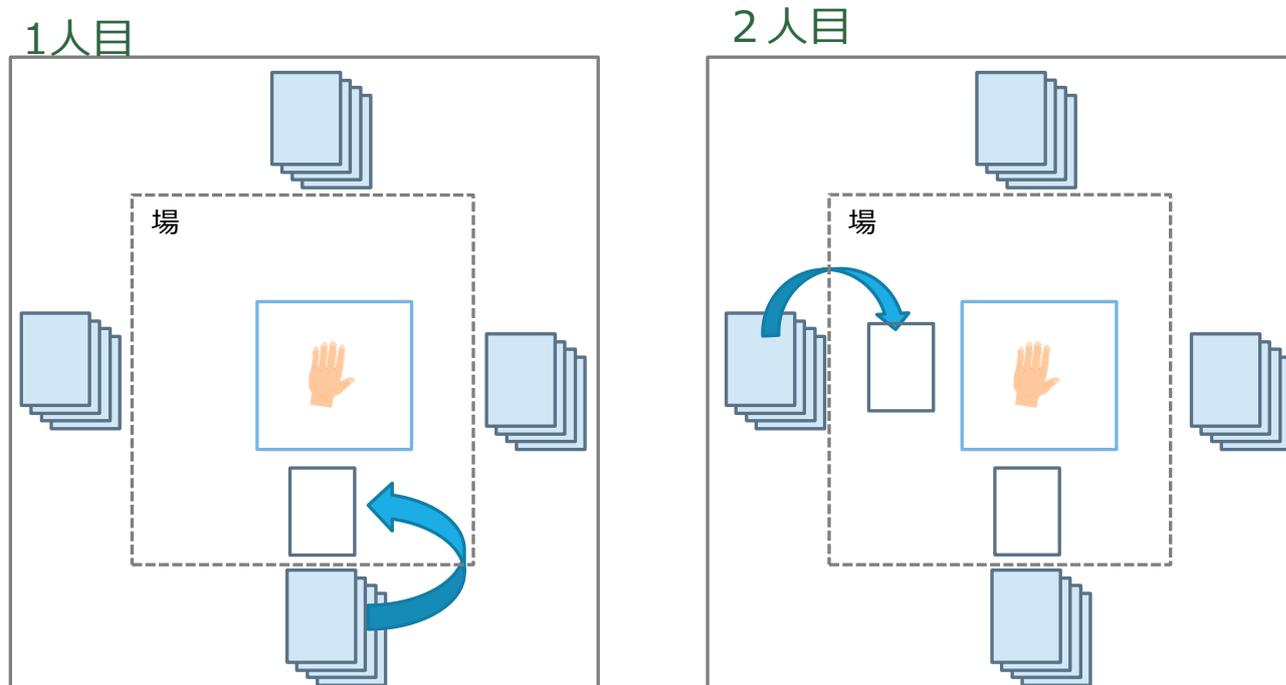


例：4人で遊ぶ場合

C212 Find5

遊び方

- ①スタートの人を決めます。（時計回りに順番を回します。）
- ②スタートの人から順番に、自分のカードの束から一番上のカードを表向けて、場に出します。
（2巡目以降は、自分が出したカードの上に重ねます）



★ある形の数の合計が5になったら、「GO！」と言いながら、全員が自分の手を、場(手の図)に重ねます。
一番早い人が、場に出ているカードを全てもらえます。
もらったカードは手持ちのカードに入れて使います。

★どの形も数の合計が5以下の場合は、次の人に順番を回します。

★ある形の合計が5以上になっても、手は出せません。
次の人に順番を回します。

C212 Find5

遊び方

5の数え方①

ある形の数の合計が5になるパターンは下記のとおり

[例1] 5が1枚



[例2] 4が1枚、1が1枚



[例3] 3が1枚、2が1枚



[例4] 3が1枚、1が2枚



[例5] 2が2枚、1が1枚



[例6] 2が1枚、1が3枚



[例7] 1が5枚（5人以上で遊ぶ時）



③を、誰かの手持ちのカードがなくなるまで続けます。
最後に一番たくさんカードをもっている人の勝ちです。

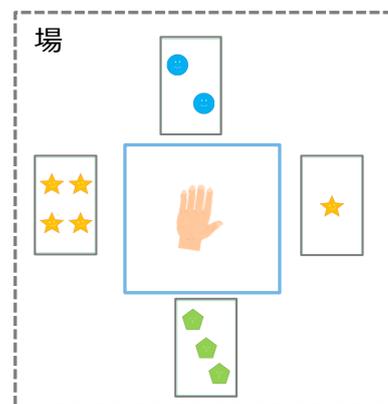
C212 Find5

遊び方

5の数え方②

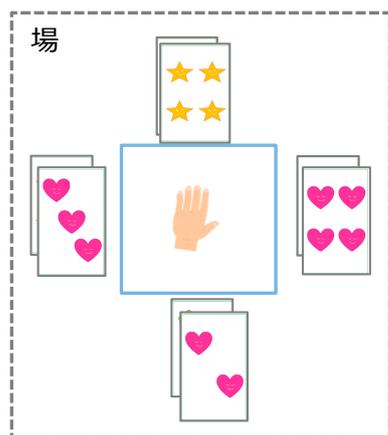
[例 1]

右の図の場合、黄色の星マークが、5となる。
→最初に手を出した人が、場のカードを全てもらえる。



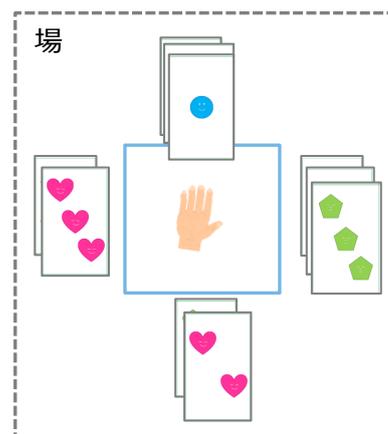
[例 2]

右の図の場合、ピンクのハートマークは5を越えているので、誰も手を出してはいけない。



[例 3]

例 2 の後、次の巡でカードを重ねて出し、右図のようになった場合、緑の五角形マークで覆われた為にピンクのハートマークが5となる。
→最初に手を出した人が場のカードを全てもらえる



誰かの手持ちのカードがなくなるまで、②を続けます。
最後に一番たくさんカードをもっている人の勝ちです。

C212 Find5



ゲームのコツ、プレイヤーへの支援

- 一桁の数字の計算ができるようになると楽しめるゲームです。
- 楽しみながら、計算力UPにつなげてください。



アレンジ（案）

- 「Find 4」、「Find 6」として、ある形の数の合計が4や6の時に、手を出すというルールに変更しても良いでしょう。
- 年齢の高い子供どおしで遊ぶ時は、四則計算を使い、「Find 2」としても良いでしょう。
例：「1」と「3」で、 $3 - 1 = 2$ となる。
「4」で、 $\sqrt{4} = 2$ となる。
「1」と「5」と「3」で、 $5 \div 1 - 3 = 2$ となる。
複雑になり、おもしろくなります。
- おてつきのルールを追加してもおもしろいでしょう。
手持ちのカードから5枚ながす など